

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		南信濃福祉研修センター管理運営事業		課名	福祉課	事業No.	70
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始	H6	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			飯田市公共施設マネジメント基本方針			
	法令・例規等			飯田市南信濃福祉研修センター条例			
事業目的		対象	市民				
		意図	社会福祉に関する活動の場の提供による市民福祉の増進				

2 事業内容

2年度 取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)				
	・南信濃福祉研修センターの管理について、飯田市社会福祉協議会に指定管理者制度による指定管理を行いました。福祉の里として一体的な活用を図っています。			委託料				447				
			その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	年間開館日数		日	250	243	250	244	250	244	250	230	
	利用者延べ人数		人	150	132	150	260	150	230	150	505	
2年度 決算 (千円)	予算額		447	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		447									
	財源の 状況	国庫支出金		0								
		県支出金		0								
		地方債		0								
		その他		0								
一般財源		447										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	1	3	1	1	18	1	447	447	南信濃福祉研修センター管理運営費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> 施設・備品の老朽化が見られますが、周辺福祉施設と連携する中で貸し会議室や研修の拠点として利用されています。 南信濃老人福祉センターの廃止に伴い、代替施設としての利用がされています。 新型コロナウイルス感染症拡大時には、利用者との調整により一時的に利用を控えていただくことで、休館と同様の対策をとりました。 								
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> 利用実績を見ながら、引き続き施設の在り方について検討していきます。 								
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> 利用実績を見ながら、引き続き施設の在り方について検討していきます。 								